ご購入はこちら

作物とヒトとのインターフェース

農業センシングの世界

その26…完成！農業IoTマルチ環境計測キット

星 岳彦

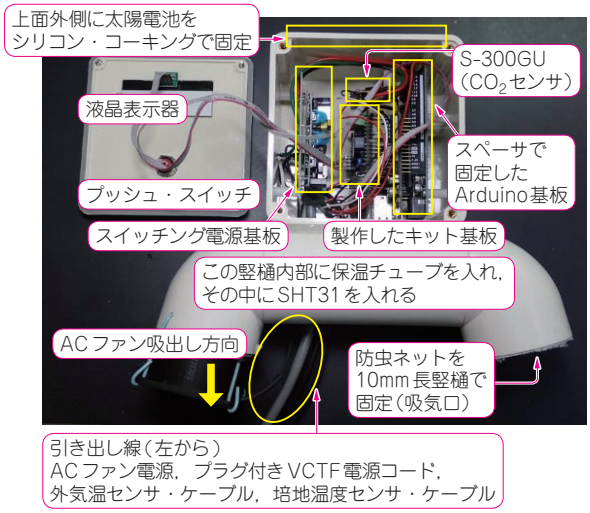

写真1　ケースを構成する部材の組み合わせと基板やセンサの取り付け方法
竪樋内部の図解は，本誌連載第3回目の図2（2018年12月号，p.11）を参照

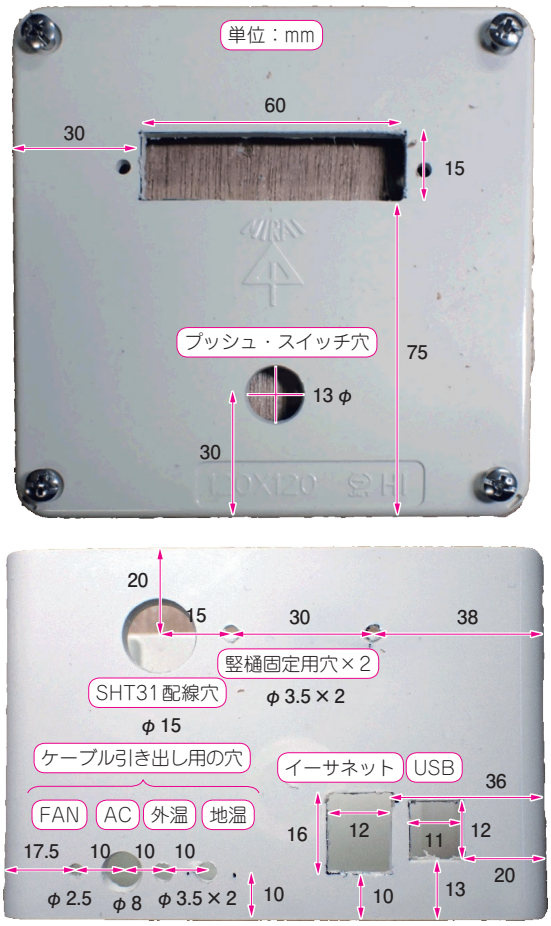

写真2　加工が複雑な防水プールボックスの蓋面と底面の穴あけ概略

環境計測ノード・キットのケースを加工

● ハウスで使うためにケースに入れよう

ケース製作に必要な工具について，前回説明しました．これらを使ってケースを組み立て，基板を取り付けます．最終的な組み立ての状態を**写真1**に示しました．部材の組み合わせと基板・センサの取り付け方法の全体像がイメージできると思います．

● ケースの加工方法

最初に，防水プールボックスの穴あけ加工から取り掛かります．**写真2**を参考にして，気長にやってみてください．ドリルだけで空けられない大きさの丸穴や角穴は，予定した線の内側に3.5mm程度のドリルで1列に穴を開け，それらの穴の間をニッパで切断して空けます．そして，空いた穴の周囲のバリをやすりで丁寧に取り去って仕上げます．穴あけが終わったら，**写真1**を参考にしながら，基板やセンサをケースに仮止めして，正しく取り付けられるか，部品同士がぶつかったりしていないかを確認しておきます．

続いて，雨どいを使った通風計測筒を加工します．組み立てイメージは，連載第3回目の図2（2018年12月号，p.11もしくは，https://interface.cqpub.co.jp/20190424-2/）を参考にしてください．雨どいの内部には，断熱のため保温チューブを入れます．エルボの先端に取り付けるACファンは，ファン

農業IoTマルチ環境計測キットCQ出版のオンライン・ショップにて発売予定です．